

04 春闘推進ニュース

全労連ニュース速報 NO.778

2004/05/10

全国労働組合総連合
TEL:03-5842-5611
FAX:03-5842-5620

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

自民・公明・民主の3党合意は即時撤回を

未加入・未納閣僚の辞職とすべての国会議員の納入状況の公表を

5月19日を「年金改悪法案の廃案めざす全国統一行動日」に設定=7日の年金闘争本部で確認

自民・公明党は、所属する国会議員の加入・納入状況は個人のプライバシーに触れるということ
を理由に、現在公表することになっていません。日本共産党はすでに公表し、社民党も本日公表す
るとしています。国民の年金・政治不信を拡大した、与党と民主党の責任は大きいものがあります。
国民の願いを無視し、3党合意を国会に押し付けることは認めることは出来ません。

全労連は、7日に「年金闘争本部拡大会議」を開催し、5月19日に「年金改悪法案の廃案をめざ
す全国統一行動」を設定するなどの国会会期末までの行動を確認しました。この拡大会議では、「す
べての組合員へのアピール」を闘争本部名で発信し、19日の全国統一行動日には、職場・地域から
一斉に「職場決議」の送付と地元国会議員・6月議会への要請、職場訪問の実施、17～21日を宣伝・
対話行動週間とすることなどを決定しました。

また、「組合員へのアピール」を基本とした、「職場決議案」「地元国会議員申し入れ案」「街頭ス
ポット宣伝原稿案」などを添付して闘争方針案を12日の全国発送とメールで送信しますので、各
組織の対応をよろしくお願いいたします。

当面の国会行動予定

5月11日(火) ○衆議院本会議（年金法案のみの採決予定）
12：30 集合 13：00 本会議
14：00 抗議行動 衆議院議面 日本共産党位志委員長

5月12日(水) ○参議院本会議傍聴 参議院議面に12：30集合 13：00傍聴？
○昼デモ 12：00霞門集合 先頭カー（全労連カー）別紙チラシ参照
○国会座り込み=12：00～15：00
○西口宣伝行動=17：30～18：00

国会会期末までの年金闘争について

- (1) 職場・地域を主体とするこれまでの運動を一層強化して取り組みを推進する。
5・19 全国統一行動を設定して断固廃案めざしてたたかう。モデル要請書やスポット宣伝原

稿などを早急に送付する。

①職場・地域からの運動

- ◆ 19日には、職場・地域行動の決議を一斉にあげ、政府・与党に送付する。そのためのモデル決議案を早期に作成する。また、目に見え・耳に聞こえる行動を地方で取り組む。
- ◆ 地元国会議員への要請を強める。時節にあったモデル要請書を作成し送付する。
- ◆ 6月議会への要請を強める。
- ◆ 職場訪問を実施し、年金改悪法案の廃案での懇談・対話を進める。
- ◆ ハンドマイク宣伝などの街角スポット宣伝を重視し、あらゆる機会を通じて一人1ヵ所目標で100万ヵ所以上の宣伝・対話行動を網の目で実施する。宣伝スポット原稿を至急送付する。
- ◆ 宣伝テープなどは、地域・当該の声で録音するのが好評。

②中央単産の行動は、上記の取り組みを組合員に知らせ、署名の集約と国会・中央行動参加を呼びかける。

(2) 国会行動の予定。

◆本会議や参議院厚生労働委員会開催日

〔衆議院の審議時間は38時間が目安〕

5月11日(火) 12日(水)、13日(木) ——傍聴行動
18日(火) 20日(木) ——20日は座りこみと傍聴行動
25日(火) 27日(木) ——傍聴行動
6月01日(火) 03日(木) ——傍聴行動
08日(火) 10日(木) ——10日は傍聴と座りこみ

◎ 委員会傍聴時間は、基本的に9:30、12:30に参議院議面に集合。

◎ 本会議は、別途連絡する予定。

◎ 25日に、年金者組合〔2000人以上〕は座り込み行動と、大阪も上京団を予定する。

◆国会前座り込み行動＝場所は参議院議員会館前 12:00～15:00

○第07次国会座り込み・議員要請行動＝5月12日(水)

○第08次国会座り込み・議員要請行動＝5月19日(水) 20日(木)

○第09次国会座り込み・議員要請行動＝5月25日(火) 26日(水)

○第10次国会座り込み・議員要請行動＝6月02日(水)

○第11次国会座り込み・議員要請行動＝6月09日(水) 10日(木)

* ゴシック字は、委員会傍聴と重なる日程。

* 全労連の5月の集中日は19日と25日に設定する。

◆ 衆議院通過に抗議する「国会請願昼デモ」の実施

中央単産と首都圏の参加を呼びかける。

◎日時 5月12日(水) 12:00霞門集合 12:20スタート

◎ この後国会座り込み行動に合流する。～15:00まで。

◆国会行動の重点

①国会行動と委員会傍聴の強化。

水曜日の座りこみ日は議員要請行動を強める。火曜・木曜は委員会傍聴に集中する。

②5月19日を中心に、すべての地方組織と中央単産は、与野党を問わず、地元国会議員要請（とくに参議院）を重視し、地元事務所への訪問・懇談や、国会議員会館への要請を繰り返し取り組む。

③署名の500万筆の達成と国会提出＝署名用紙は在庫があるので必要な組織は連絡を。

④共同デスクを設置し、国会状況の早期一斉送信とホームページの活用

(3) 国会状況を踏まえた大宣伝行動の重視

◆毎週水曜日の定例宣伝行動を推進するとともに、5月17日～21日を全国一斉宣伝・対話行動週間とする。

①現在、手元にあるチラシはすべて配布しきる。りんごチラシの在庫があるので、必要な組織には送付します。

②必要に応じて版下を作成 —— 宣伝ゾーン用にメール送信と版下で送付
19日配布に必要な版下を作成し送付する。

③スポット宣伝原稿の送付

④全労連新聞の活用

⑤中央での定例宣伝行動

◎5月12日〔水〕 午後17:30～18:30 新宿西口

◎全労連・中央社保協で実施。

分会執行委員会で年金改悪案に怒り爆発

建交労九州支部長崎分会＝長崎県選出国會議員全員に電報送る

4月28日に開いた建交労九州支部長崎分会執行委員会では、自民、公明が押し進めようとしている年金改悪に大きな怒りの声が寄せられました。「閣僚は、自分たちの年金はかけ忘れたと言っているが、そんな事は絶対に許されない」「与党は、補欠選挙で勝ったからと知っているが、国民は年金改悪まで認めたわけではない」といつにもない怒りの声が湧き起こりました。

執行委員会は「このまま何もしないわけにはいかない」ということになり、長崎選出の国会議員全員（衆院5人、参院3人）に電報を打ちことになりました。

電文は与党議員には「長崎県出身の国会議員として、今回の年金改革法案に最後まで断固として反対を貫いていただきますよう強くお願いいたします。県民は、今回の改革案が十分論議されたと認めていません」野党議員には「長崎県出身の国会議員として、今回の年金改革法案に最後まで断固として反対を貫いていただきますよう強くお願いいたします」としました。

ある執行委員は「採決に賛成した議員は、県民にどのような申し開きをするのか聞いてみたい」と語気を荒げていました。